

2013年度 中間決算説明資料



CNC立形複合研削盤
SVG-3T

株式会社 太陽工機

中間決算概要

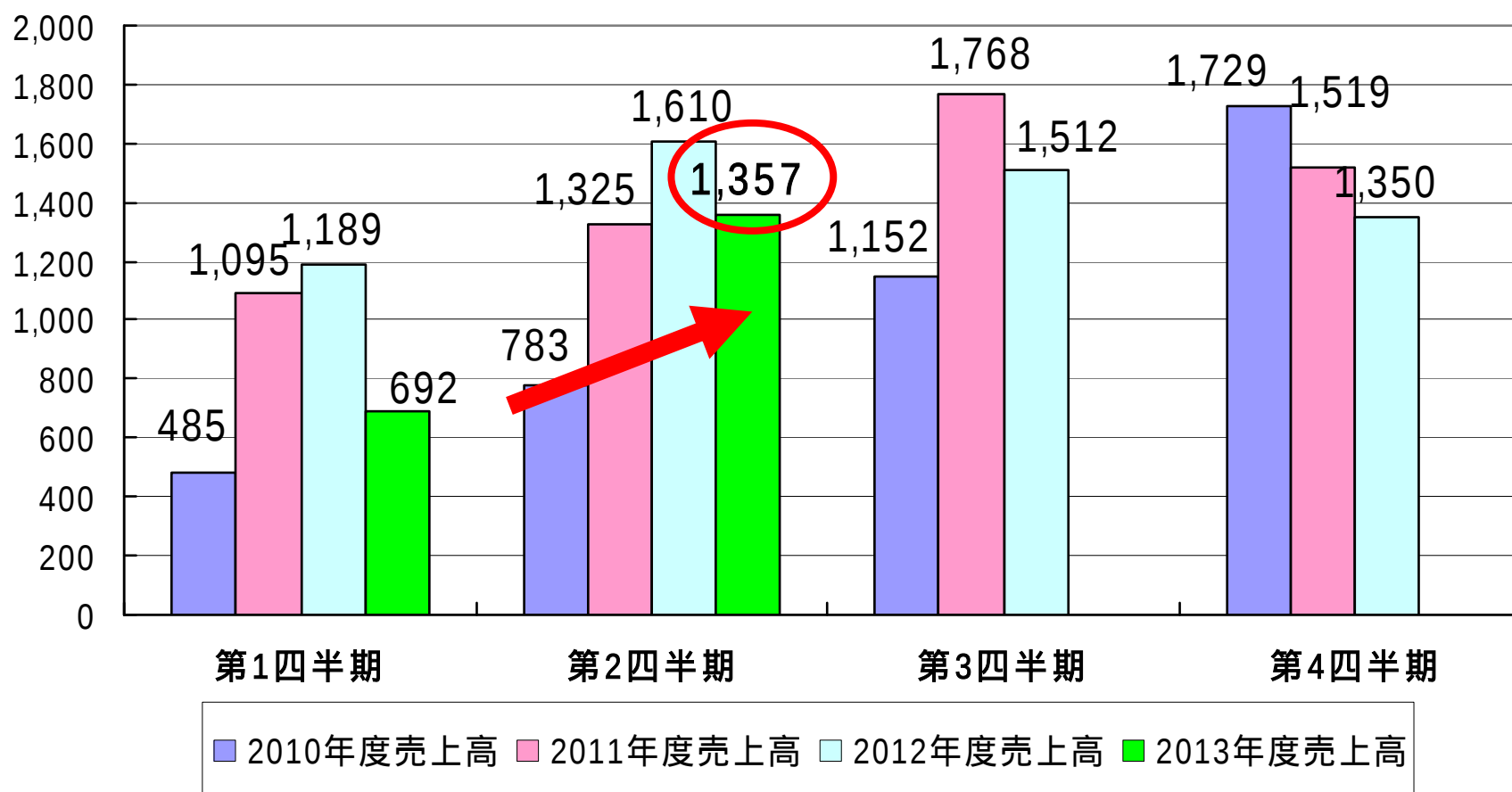
損益計算書 (P / L)

昨年度後半からの需要停滞により減収するも、採算性改善により、黒字を確保。

	2012年度 第2四半期	2013年度 第2四半期	
(百万円)	実績	実績	対前年比
売上高	2,799	2,050	26.8 %減
営業利益	311	48	84.6 %減
(売上高比率)	11.1%	2.3%	8.8 point減
経常利益	291	25	91.1 %減
(売上高比率)	10.4%	1.3%	9.1 point減
税引前利益	283	25	90.9 %減
当期利益	263	7	97.2 %減

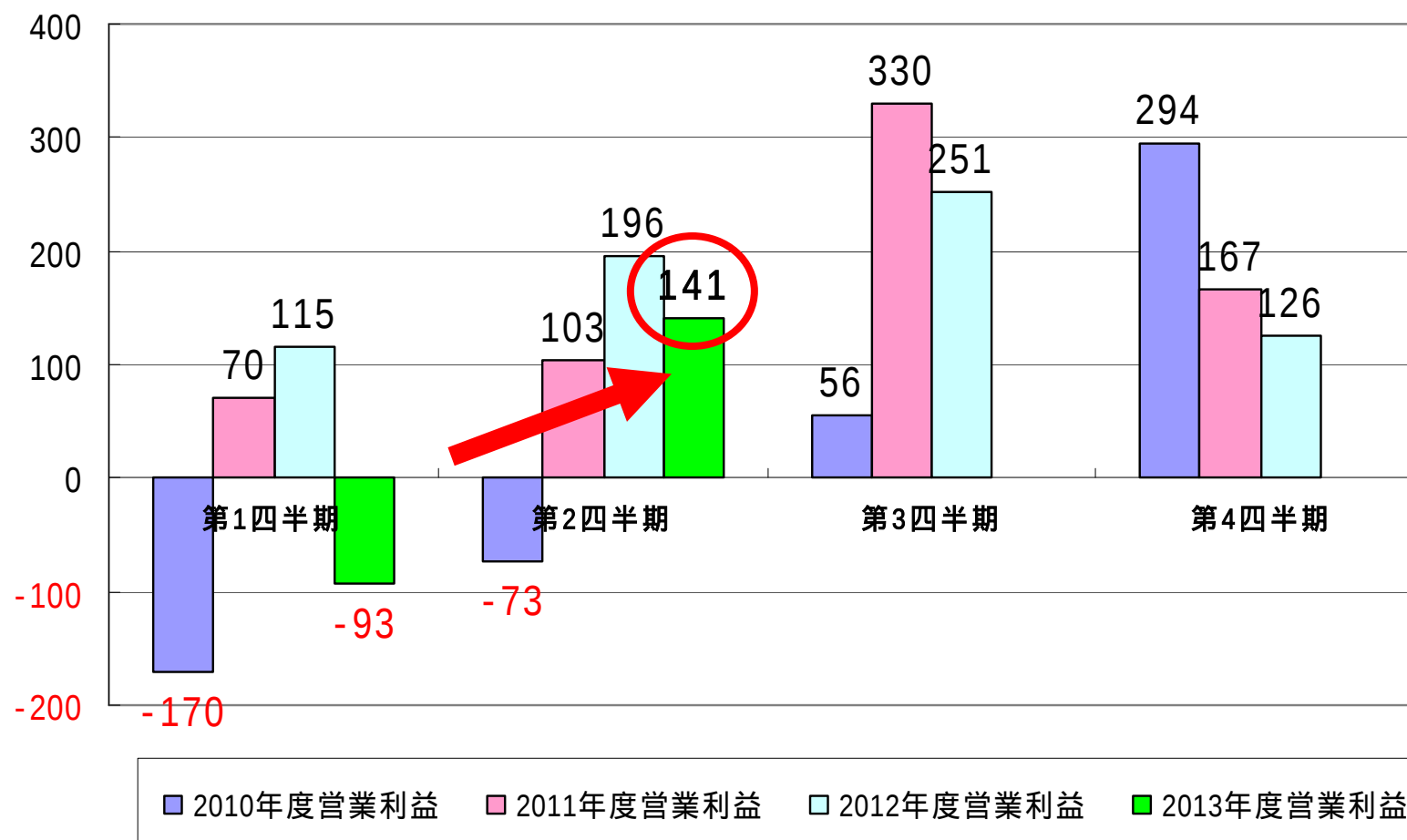
売上高(四半期別推移)

上期は第2四半期に売上時期が集中。
前年度後半からの受注の弱まりを受け、前年上期比26.8%減。



営業利益(四半期別推移)

第2四半期で黒字に転換→下期で利益の積み増しを図る。



貸借対照表 (B / S)

第1四半期の売上減少及び下期～来期の生産準備のため、
所要運転資金が増加 短期借入金にてカバー

(百万円)	2012年度	2013年度		(百万円)	2012年度	2013年度	
	3月31日実績	9月30日実績	増減		3月31日実績	9月30日実績	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	2,367	2,325	▲ 42	流動負債	485	475	▲ 10
現金及び預金	296	115	▲ 181	買掛金	155	143	▲ 12
売掛金	1,000	982	▲ 18	短期借入金	0	100	100
棚卸資産	901	1,053	152	未払法人税等	43	11	▲ 32
繰延税金資産	160	150	▲ 10	製品保証引当金	45	31	▲ 14
その他流動資産	9	24	15	役員賞与引当金	18	7	▲ 11
固定資産	1,339	1,323	▲ 16	その他流動負債	223	181	▲ 42
建物	793	771	▲ 22	固定負債	815	785	▲ 30
土地	354	354	0	リース債務	768	740	▲ 28
その他有形固定資産	142	145	3	その他固定負債	47	44	▲ 3
無形固定資産	6	4	▲ 2	純資産	2,405	2,389	▲ 16
投資その他資産	42	47	5	株主資本	2,390	2,377	▲ 13
				新株予約権	15	11	▲ 4
資産合計	3,706	3,649	▲ 57	負債純資産合計	3,706	3,649	▲ 57

原価率・販管費・株主資本比率

SVG-3/3T、Vertical Mate35等の開発に注力し、研究開発費が増加
→ 販売管理費の割合増加。

	2011年度 通期	2012年度 第2四半期 (会計期間)	2012年度 中間期	2012年度 通期	2013年度 第2四半期 (会計期間)	2013年度 中間期
売上高原価率 (下段は売上原価: 百万円)	70.0% 3,995	71.2% 1,147	71.2% 1,992	69.7% 3,948	69.2% 1,357	70.8% 1,452
販売管理費率 (下段は販売管理費: 百万円)	18.2% 1,041	16.6% 267	17.7% 495	18.1% 1,025	20.4% 277	26.8% 550
株主資本比率 (下段は株主資本: 百万円)	42.7% 1,634	47.1% 1,870	47.1% 1,870	64.5% 2,390	65.1% 2,377	65.1% 2,377

回転期間

	2012年度	2013年度	
	第2四半期	第2四半期	増減
売上債権回転期間	2.68	2.88	0.19 ヶ月
棚卸資産回転期間	2.80	3.08	0.28 ヶ月
仕入債務回転期間	0.55	0.42	▲ 0.12 ヶ月
固定資産回転期間(有形)	2.71	3.72	1.01 ヶ月
借入金回転期間	1.18	0.29	▲ 0.89 ヶ月

キャッシュフロー計算書 (C/F)

運転資金を短期借入金にてカバーする状況は、
来上期まで継続する見通し。

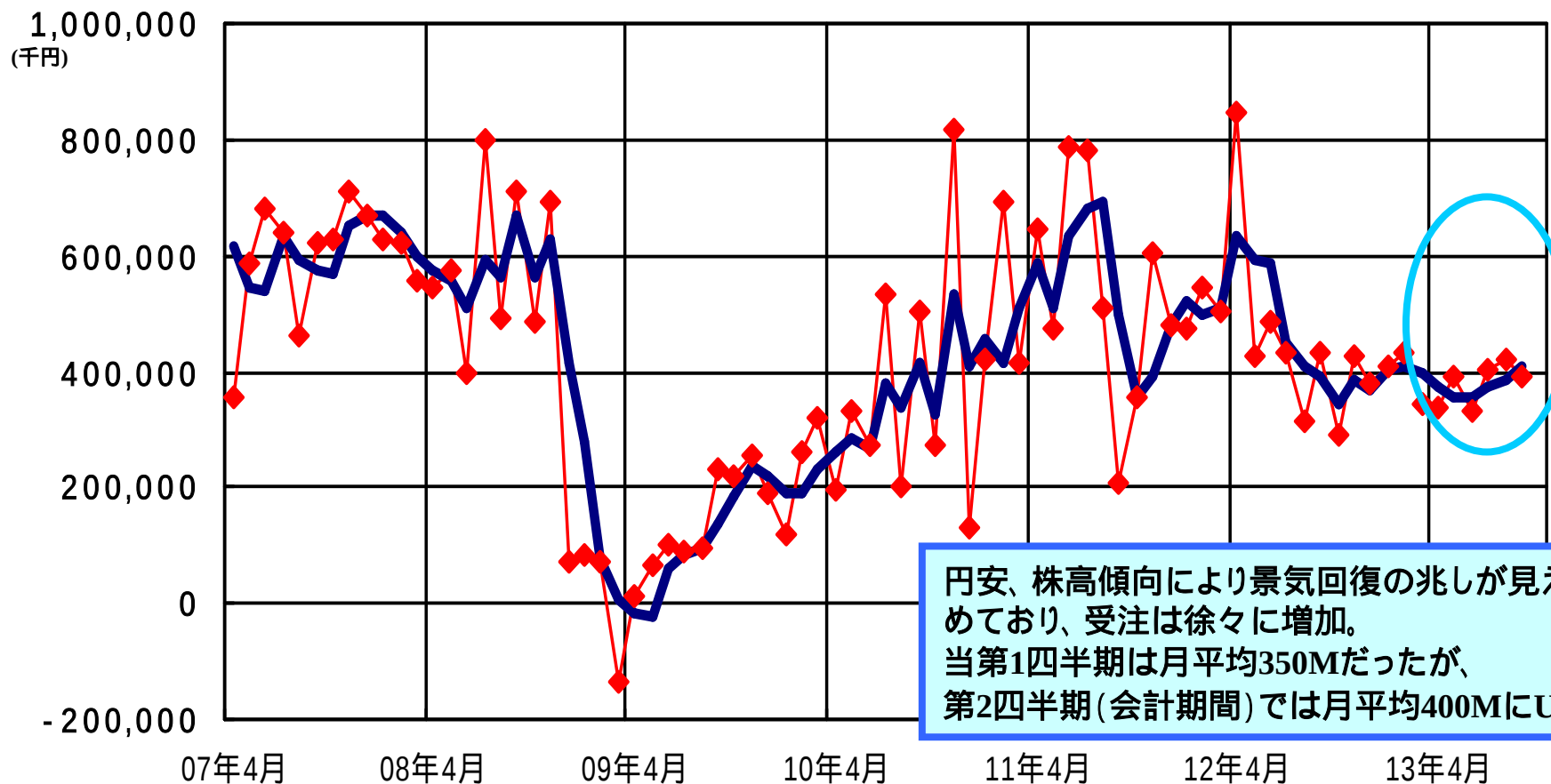
(単位: 百万円)

	2011年度 通期	2012年度 第2四半期 (累計)	2012年度 通期	2013年度 第2四半期 (累計)
営業活動によるCF	507	33	817	▲ 212
投資活動によるCF	▲ 23	▲ 18	▲ 27	▲ 17
財務活動によるCF	▲ 549	▲ 123	▲ 692	48
現金および同等物の増減額	▲ 65	▲ 108	98	▲ 180
現金および同等物の期首残高	263	197	197	296
現金および同等物の期末残高	197	89	296	115

受注高の推移

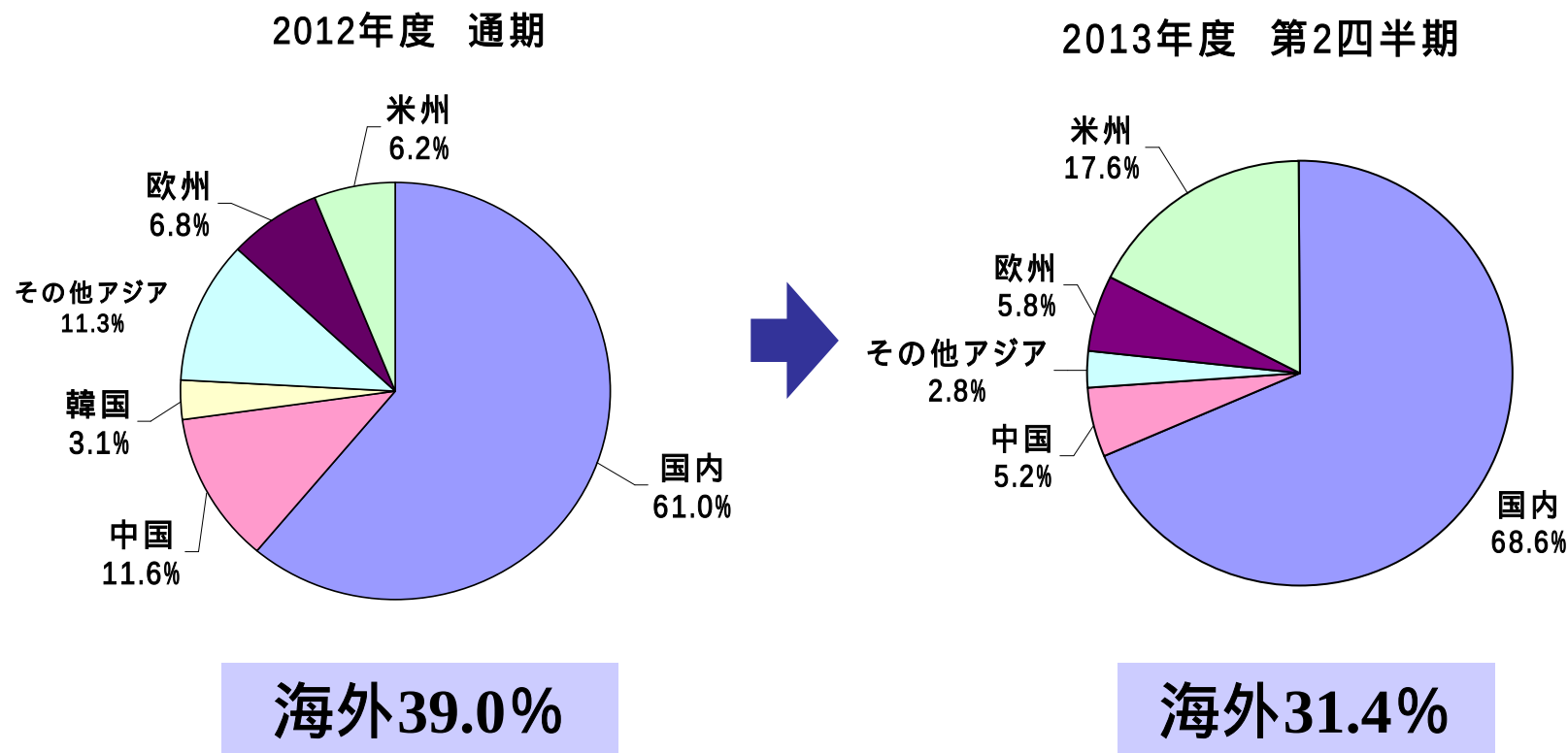
合計**2,281M**(前年同期比22.3%減)
第2四半期末受注残高**2,119M**(当第1四半期末比138M減)

青線 : 3ヵ月移動平均



海外納入比率

国内自動車関連企業のメキシコ設置案件が大幅に増加、
国内企業の中国、その他アジアへの設置は小休止。



通期業績予想の修正

海外の需要回復に時間を要している。
国内外の最大手メーカの大案件が進行しているものの、
売上は来上期の見通しであり、通期業績は当初予想より下振れする。

(百万円)	2012年度		2013年度 予想			
	中間期	通期	中間期	通期		増減
	実績	実績	実績	修正前	修正後	
売上高	2,799	5,663	2,050	5,700	4,700	▲ 1,000
営業利益	311	689	48	650	240	▲ 410
(売上高比率)	11.1%	12.2%	2.3%	11.4%	5.1%	—
経常利益	291	649	25	610	200	▲ 410
(売上高比率)	10.4%	11.9%	1.3%	10.7%	4.3%	—
当期利益	263	768	7	370	100	▲ 270
1株当たり配当金	0円	10円	0円	10円	10円	—

技 術

2013年10月新規開発機

SVG-3、SVG-3T



1. ターゲットユーザ

自動車や建設機械・電機機器業界関連等
小・中型部品の加工を行うお客様向け。

2. 省スペース化

機械間口1,250mm(当社同スペック機比約18%
減)でありながら主軸の振りφ300を確保。

3. 剛性アップとオプションの充実

研削点とX軸移動面を同一高さに配置
剛性の向上。
ロータリッドレッサーや機内測定装置等、
様々な オプションに対応。

4. コストパフォーマンスの向上

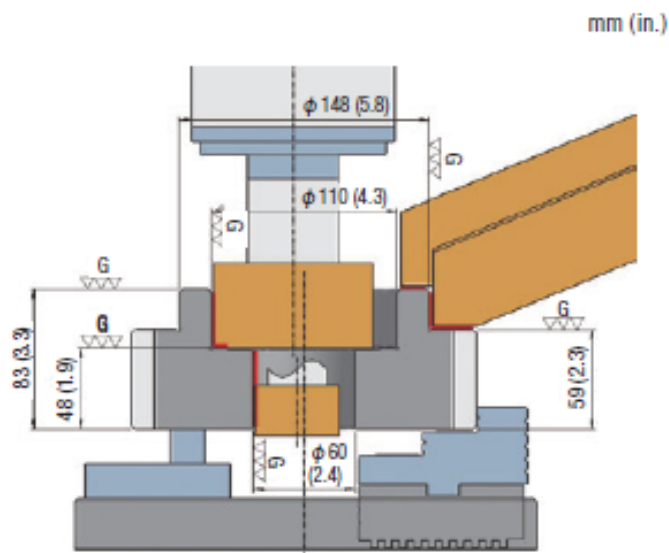
従来機種IGV-1N/3Nの両方をカバーしつつ、
価格はIGV-1Nと同水準を維持。最大約14%の
価格低減を実現。(SVG-3TとIGV-3NTとの比較)

CNC立形複合研削	
SVG-3 (シングルスピンドルタイプ)	SVG-3T (タレット型複合タイプ)
本体価格1,490万円 + 税	本体価格2,280万円 + 税
販売目標 年間25台	

SVG-3 / 3Tの加工事例

SVG-3T (内研2軸＋外研仕様) (2 I.D. spindles+1 O.D. spindle spec.)

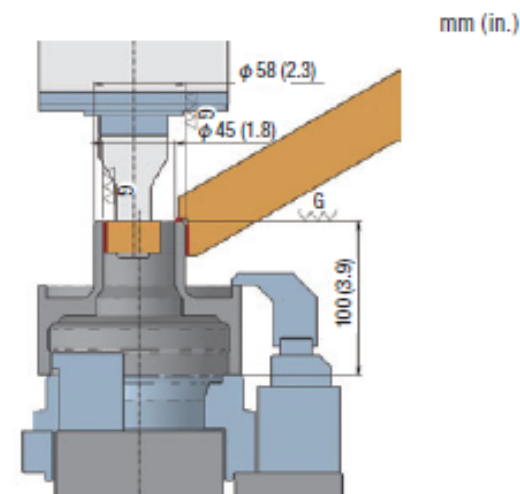
ギヤ Gear



材質 Material	: S45C
真円度 Roundness	: 0.001 mm (0.00004 in.)
円筒度 Cylindricity	: 0.002 mm (0.00008 in.)
直角度 Squareness	: 0.002 mm (0.00008 in.)
面粗度 Surface roughness	: Ra 0.16

SVG-3T (内研1軸＋外研仕様) (1 I.D. spindle+1 O.D. spindle spec.)

自動車部品 Automobile component

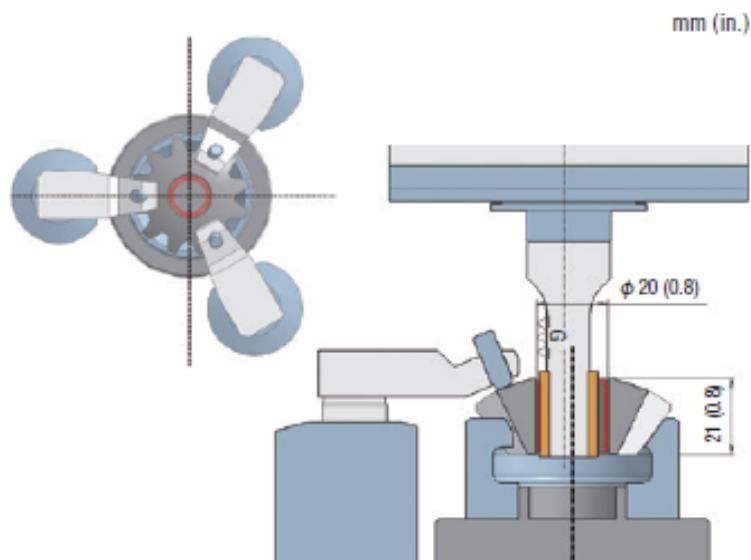


材質 Material	: S40C
硬さ Hardness	: HV600
真円度 Roundness	: 0.004 mm (0.00016 in.)
円筒度 Cylindricity	: 0.01 mm (0.00039 in.)
面粗度 Surface roughness	内径 I.D. : Ra 0.20
	外径 O.D. : Ra 0.24
	端面 Face : Ra 0.21

SVG-3 / 3Tの加工事例

SVG-3

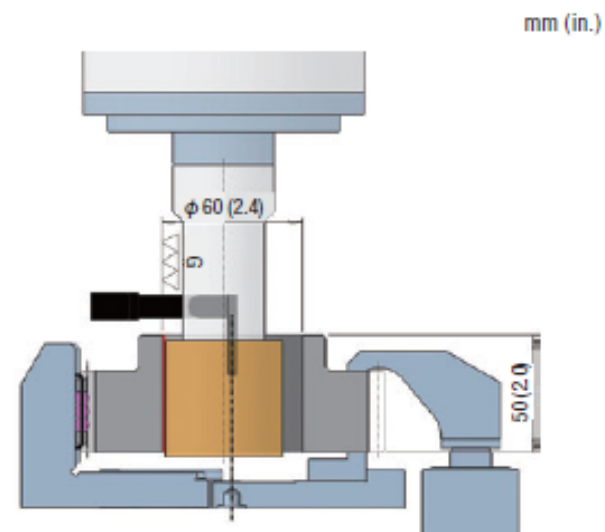
■ ピニオンギヤ Pinion gear



材質 Material	: SCM420
硬さ Hardness	: HS50~60
真円度 Roundness	: 0.007 mm (0.00028 in.)
面粗度 Surface roughness	: Ra 0.20

SVG-3

■ ギヤ Gear



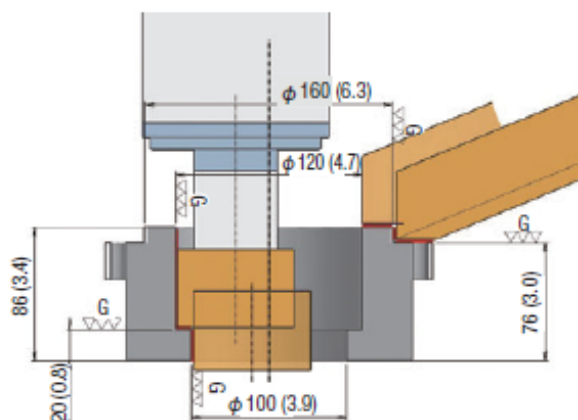
材質 Material	: S45C
硬さ Hardness	: HS50~60
真円度 Roundness	: 0.001 mm (0.00004 in.)
円筒度 Cylindricity	: 0.002 mm (0.00008 in.)
面粗度 Surface roughness	: Ra 0.10

SVG-3 / 3Tの加工事例

SVG-3T (内研1軸+外研仕様) (1 I.D. spindle+1 O.D. spindle spec.)

■ 工作機械部品 Machine tool component

mm (in.)

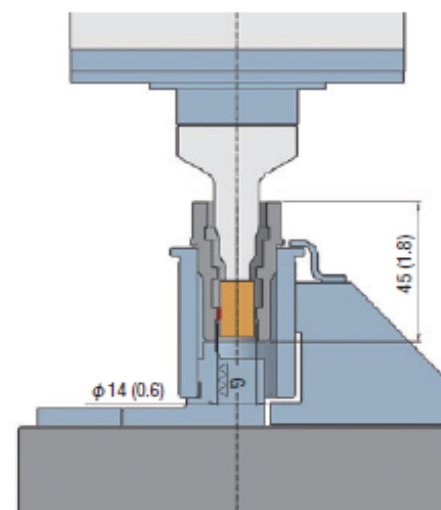


材質 Material	: S45C
硬さ Hardness	: HS50~60
真円度 Roundness	: 0.001 mm (0.00004 in.)
円筒度 Cylindricity	: 0.002 mm (0.00008 in.)
直角度 Squareness	: 0.002 mm (0.00008 in.)
面粗度 Surface roughness	
内径 I.D.	: Ra 0.16
外径 O.D.	: Ra 0.16
端面 Face	: Ra 0.17

SVG-3

■ 油圧部品 Hydraulic component

mm (in.)



材質 Material	: SCM415
硬さ Hardness	: HRA70~83
真円度 Roundness	: 0.002 mm (0.00008 in.)
円筒度 Cylindricity	: 0.003 mm (0.00011 in.)
面粗度 Surface roughness	: Ra 0.17

2013年11月発表予定 新規開発機

Vertical Mate® 35



CNC立形複合研削
Vertical Mate® 35
本体価格2,650万円 + 税
販売目標 年間40台 (Vertical Mateシリーズ合計)

1. Vertical Mateシリーズの第4弾

シリーズ化により、35・55・85・125の4サイズを展開。

2. ターゲットユーザ

工作機械や産業機械、一般金属加工、建設機械関連等、幅広い業種向け。

3. 汎用機としての利便性

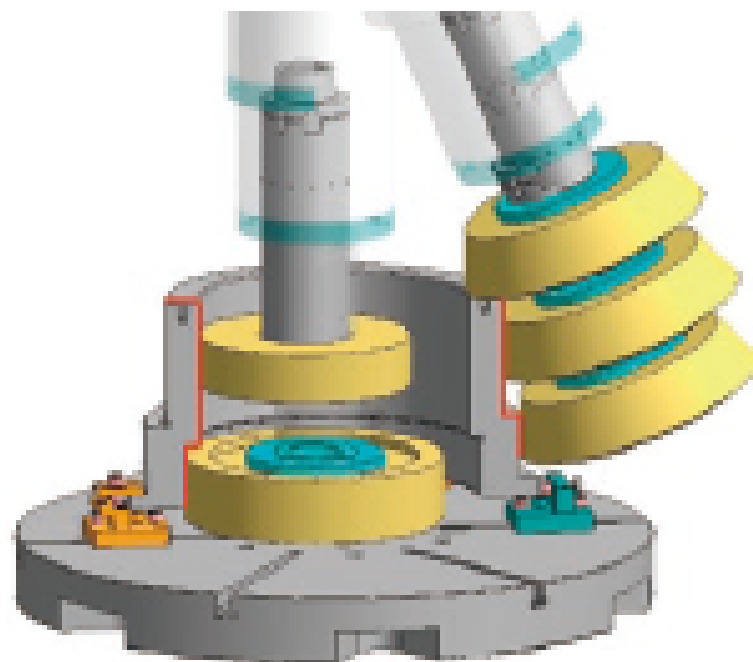
機能・オプションを標準化することにより、汎用機として利用可能。

4. シンプル&リーズナブル

複合加工/工程革新/高精度化のメリットはそのままにシンプルな構造設計。

当社NVGシリーズ、NVGHシリーズに比べ、リーズナブルな価格設定を実現。

Vertical Mateシリーズの加工事例

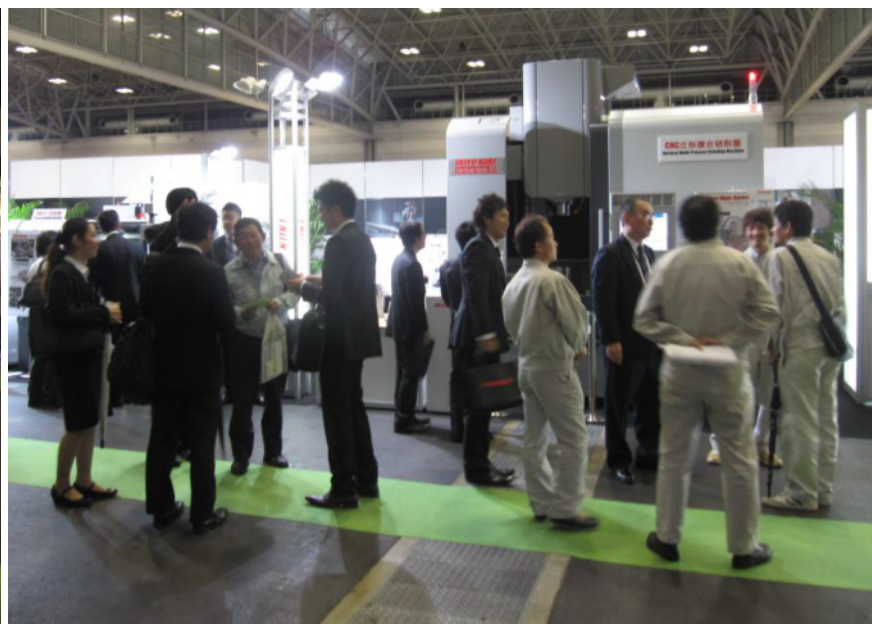
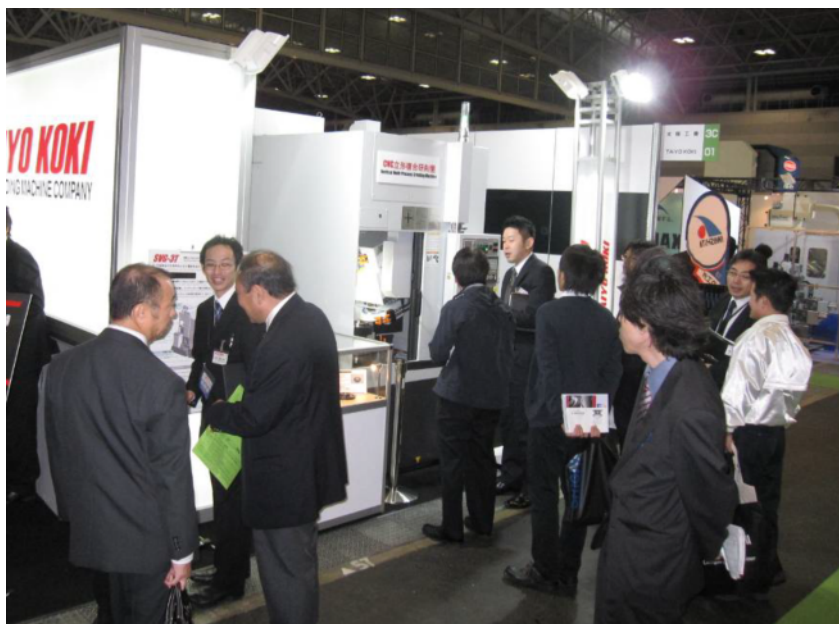


メカトロテックジャパン2013出展

開催日:10月23日(水)～10月26日(土)

開催地:ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場)

総来場者数:93,741名 (うち当社来場者数 665名)



メカトロテックジャパン2013の様子

2013年10月に発表した新機種「SVG-3T」を含む、3機種を出展。
多くのお客様にご来場いただき。会期中に6台の受注を獲得。

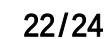
アメリカ駐在拠点の開設

2013年10月 アメリカ、シカゴに駐在拠点を開設。



アメリカ駐在拠点 DMG MORI SEIKI U.S.A., Inc. (シカゴ)

- ・世界最大手の航空機エンジンメーカー、建設機械メーカー、ベアリングメーカーへの納入実績をもとに、大手企業をはじめ、中堅・中小企業といった幅広い企業からの需要獲得を狙う。
- ・今後は、米州のサービス対応も可能にする。



今後の展開

■マーケット開拓

グローバル営業の強化

- ・アメリカでは世界最大手メーカへの納入実績をもとに展開。
(航空機エンジン、建設機械、ベアリング)
- ・新興市場(韓国、台湾、タイ、インド、メキシコ)の開拓。
- ・中国・欧州では営業拠点を軸に設備投資需要の掘り起こし。
- ・欧州、航空機関連メーカから複数台受注の有力案件が浮上中。

国内市場の開拓

- ・リピートユーザ対策。
- ・立形以外の研削盤の拡販。(横形・カム研・ネジ研)
- ・各地域商社主催の展示会へ出展。

今後の展開

■新製品の新規開発

- ・Vertical Mateシリーズのラインナップ拡充。
 - ・専用研削盤のネジ研削盤(TGN)のシリーズ化。
- 国内・アジア地域を中心に、新規ユーザの開拓を図る。

■製品レベルの向上

- ・QCD(品質、価格、納期)で他社を圧倒し、市場でのシェアを確固たるものにする。さらにお客様のニーズを取り込んだ製品開発に努め、お客様の生産改革に貢献し、お客様とともに成長を目指す。